



チェックしておきたい3つのツール

東海豪雨から約20年。自分の家が浸水する可能性や、雨量や川の状況など、水害に関わる様々な情報が得られるようになり、**スマホで見られるサイトやアプリ**も増えました。そんな「命を守るツール」を使って、危険が迫ってきた時、どのタイミングで、どんな情報をきっかけに避難するか、その意識を普段から持つことが重要です。とはいえ、普段ずっとというのはなかなか大変なので、まずは、下の図にある3つを確実に押さえておきたいところです。ハザードマップを見たら、大雨の時に危険な場所がないか避難経路を実際に歩いてみるというですよ。

日頃から

わが家は大丈夫？

「ハザードマップ」で
災害リスクを確認！



洪水や土砂災害、津波、道路防災情報など、水害のおそれがある場所を地図で表示します。

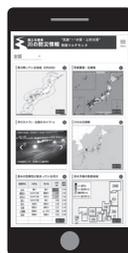
「ハザードマップポータルサイト」はこちら



大雨の時

川があふれそう…!?

「川の防災情報」で
川の状況をチェック！



今の雨量や、川の状況を確認できるライブ映像、近くの川の水位など、命を守る情報を随時発信しています。マルチモニターで、災害状況が一目瞭然です。

「川の防災情報」はこちら



避難の時

身近な人によびかけて！

「逃げなきゃコール」で
家族の避難を後押し！



離れた場所でも緊急速報メールを受け取ることができます。避難を呼びかけることが、大切な人を災害から守ることへとつながります。

「逃げなきゃコール」はこちら

